



## 公立の学校や保育園はなぜ必要なの？



子どもがいる家庭だけでなく、  
社会全体のメリットを考えて、  
公共サービスが整備されています。

### 国や地方自治体などが提供する、公共サービスが必要な理由は？

たとえば公立学校による義務教育には「経済状況に関わらずすべての人が教育を受けることができる」という実際に教育を受ける人にとってのメリットだけでなく、「だれもが一定の教育を受けた社会にすることで、さまざまな取り引きがスムーズに進む」など、社会全体にもメリットがあります。世の中の経済活動には、義務教育のように、市場を介さずに当時者以外にも影響を及ぼすモノやサービスがあります。このような場合、市場の自由な取引にまかせると、その供給量は社会的に最適とされる供給量を下回る可能性があります。そのため、国や地方自治体がそれらのモノやサービスを供給したり、補助金を出したりしているのです。

### 少子高齢化対策について、「公共経済学」の観点から効果や影響を分析。

現在、日本では少子高齢化が社会の大きな課題となっています。少子高齢化は、社会保障制度や日本の労働力人口の減少など、社会全体に関わる問題です。そのため、たとえば「保育サービスを充実させる」ことで、少子化対策につながるのであれば、それは子どもがいる家庭だけでなく、社会全体にメリットのある事業であると考えられます。私は、「公共経済学」の観点から少子化対策について研究しています。公共経済学とは、国や地方自治体などの公共部門が行う経済活動を、経済学の側面から分析する学問です。さまざまな少子化対策の効果や影響が明らかにできれば、政策の検討にも役立つはずです。

#### TEACHER'S PROFILE



焼田 紗先生

Yakita Sayaka

もともと「発展途上国の貧困問題」に関心をもったことがきっかけで、経済学の道に進みました。その後、学生時代に受けた「公共経済学」の授業がとてもおもしろくて、この道で研究者をめざすことに。広い視野が必要となる、とても奥が深い分野です。

#### マイブーム紹介



#### 旅行で気分転換。お気に入り は、九州の由布院、別府温泉。

最近はまだあまり行けていませんが、旅行が趣味です。これまで、国内外問わずいろいろなところに行きましたが、国内だと特に九州地方が好きです。由布院や別府の温泉は、どこも雰囲気良くてすごく癒やされるのでオススメです。